

申3号第3回

**36交渉 会社が再びデータを示さず、  
議論が深められない！！  
データの提示と議論に必要な期間として  
再度3ヶ月締結を申し入れ、交渉を打ち切り！！**

「現場組合員に迷惑をかけない」、「誠実に議論を進める」という共通認識のもと議論を再開しましたが、要員の議論に必要な「出張数」のデータについて、会社側は「膨大な作業が必要で現実的ではない」と引き続き回答がありませんでした。

このままでは議論が深められないため、出張数を把握するために必要な期間を求めたところ ①総数をカウントするだけでも1ヶ月以上かかる、②あらかじめ予定されていたものか、緊急な要件によるものかの区別は現場で行わねばならず、膨大な期間がかかることが示されました。単に「膨大な期間がかかる」と回答した根拠について説明を求めましたが、現場に確認したり、シュミレーションをするなどの誠実な対応がされませんでした。

一向に議論が深められなかったため、「そもそも出張の総数を示すつもりはあるのか」と会社側の認識を正したところ、**「出張の総数については示す」**との回答を示しました。

よって、要員問題の解決に必要な出張総数の算出に必要な期間・議論の確保、現場に負担をかけないために改めて3ヶ月締結を求めました。

**会社は36協定を速やかに締結した上で、自ら回答した通り、  
早急にデータを示し、議論を継続すべきだ！！**